

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年12月5日
事業者名:	特定非営利活動法人 飛騨高山アクティブスポーツクラブ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	さまざまな申込みや入会連絡など、環境に配慮して、WEB上でのペーパーレスを実践している。	⑬気候変動に具体的な対策を	クラブ専用アプリ会社と契約し、クラブ費の納入・Tシャツの注文・練習や大会の案内・参加連絡など、環境に配慮し、ペーパーレスで運営している。	指標	ペーパーレス運営の実施率
				目標	100%ペーパーレス運営を継続する
社会	障害を持った方々とのスポーツ交流を通して、青少年への啓発活動を行なっている。	③すべての人に健康と福祉を、⑩住み続けられるまちづくりを、⑩人や国の不平等をなくそう	毎年、パラリンピック選手などを招聘し、シッティングバレーボール交流会を開催している。	指標	障害者スポーツ交流会の開催数
				目標	2回/年
経済	各種目への参加費を1000円/月とし、会費を納入すれば、どのスポーツにも参加できるよう、安価で設定し、参加しやすい環境を整えている。	④質の高い教育をみんなに、③すべての人に健康と福祉を	<R5年度現在> ・開催クラブ数：6 ・クラブ会員数：130名ほどの小中学生が在籍し、スポーツを楽しんでいる。	指標	・開催クラブ数 ・クラブ会員数
				目標	・開催クラブ数 令和6年度までに10へ増 ・クラブ会員数 令和6年度までに200名へ増
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・各クラブの活動報告を公開し、構成員が情報共有すること ・半期に一度、クラブ指導者が集い、情報交換をし、課題解決型の話し合いを行っている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				